

変化するロータリー



ロータリーの向かう所

RI 会長代理・RI 理事
齋藤 直美
(豊田 RC)

愛知・豊田 RC の齋藤です。長嶺ガバナーより、ロータリーの向かう所との宿題を頂きました。恐れていたタイトルです。原稿を書いたりして悩んでいたのですが、小山内さんの一言で肩の荷がスッとおりました。27日まで1週間、理事会の延長でアメリカにいて帰ってきたところです。時差ボケがまだ続いています。28日は70年ぶりの小学校の同級生が8人長野からきてランチをしまして、講演の原稿もそこそこで、ここに駆けつけた次第です。

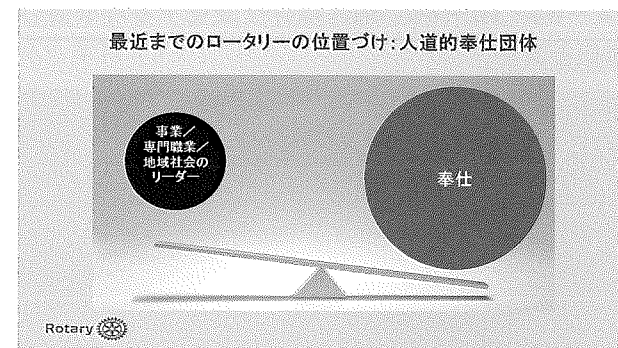
青森には大勢の顔見知りのバストガバナーがいらしてホッとしています。鐘ヶ江さんは同期で、黒田元 RI 理事は、私が理事ノミニーの時に費用や英語力の事などをこっそり聞いたりしました。山崎さんはガバナーの時から存じ上げており、色々な方からお世話頂いています。そんな方のお話をするのは、「齋藤どうだ?」と面接試験を受けているようで、私としてはやりにくい地区です。RI 会長代理として真ん中に座っているだけだと楽ですが…。私が理事になったときに、山崎さんに「齋藤さんそのままがいいよ」と言われました。あまり勉強しない理事ですが、よろしく願います。

さて、村井さんが地区代表で規定審議会に出席する直前の2週間前に、実は戦略計画の最新情報が流されました。RI の指導者グループが本気になっている事がわかります。冒頭に「ロータリーがしかるべき運命を切り開くには、常に進化し、時には革命的にならなければなりません」(ロータリー創設者

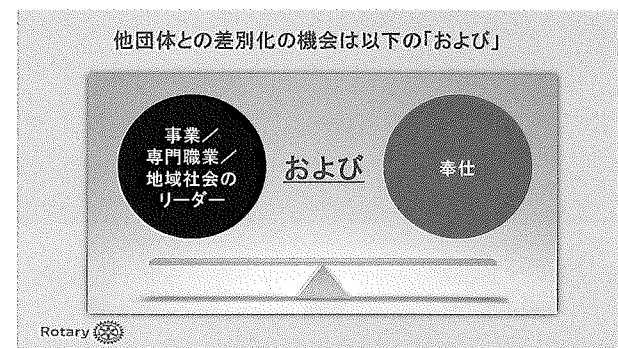
ポール・ハリス) が出てきます。様々な変革が行われました。RI 理事会の半年前(2015年10月)の決定事項です。

①ロータリーは時代に追いついていかなければならない・・・これにより同意して、②番目にロータリーは時代に適応しなければならない・・・これは DLP や CLP でした。③番目の、ロータリーは将来への備えができていなければならないは、戦略計画だと読ませていただきました。これらは、2016年の規定審議会で大変な変革を遂げる覚悟で準備していることがわかるのであります。

シーソーゲームのような図です。最近までのロータリーの位置づけは、人道的支援が重視されていま



した。この力関係であったために、世界中のロータリーがくたびれ、破たんしていくのではとロータリアンが気が付いて、今度はバランスを変えようとしたのでしよう。ここで大事なことを、僕が思うのは、「平均で行きましょうね」は、実は村井さんが「もっと厳しくなった」と言っていました。柔軟性があるが厳しいのです。人道的奉仕のみではなく、左側

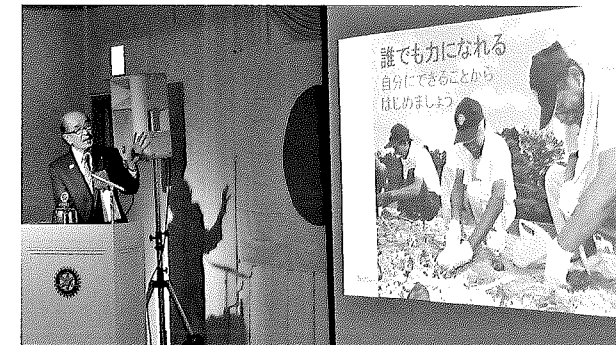


のロータリーの特性を有する活動がフィフティ・フィフティで行かなければならないのです。

日本のロータリーは、RI は職業奉仕をほったらかしにして人道的奉仕を・・・と言いましたが、彼らはキリスト教文化圏の中で、非常に倫理感が強く、職業に対する思い入れも強く、職業奉仕に厳しいのです。そうですからこのバランスで良かったのではなく、我々は我が身を律しなくてはならず、その上で人道的支援をやらうと言うことになったのです。

ある女子大生が大学卒業と同時にマザーテレサの下へ行き、奉仕に参加させてほしいと申し出たら、マザーテレサは「お帰りなさい。あなたの周りに助けを求めている人はたくさんいる」と、作り話かもしれませんが、そんなエピソードもあります。これがロータリーの原点で、本質であろうと考えます。

「誰でも力になれる、自分にできることから始めましょう」という言葉で結ばれていて、ここまですが昨年10月に検討されたことです。



私はサラリーマン時代よく引っ越しをしていたので、ロータリアンになってからも資料を片々端から捨てていましたが、ある時1985年のロータリーの友6月号が残っていて出て来ました。その中に次期事務総長フィリップ・リンジー氏に聞くとの記事があり「組織がどんなに大きくなっても、ロータリーの事業のいくつかが世界規模になっても・・・、ロータリークラブは地域社会を基盤とする奉仕団体でありますから、実際の活動は公共的ですがロータリー自体はむしろ個人的でプライベートなものというべきでしょう」とありました。これって、僕らが30年前に言われたロータリーの神髄であると思います。そんな親父の姿を見て、従業員が育って行く、倫理観の強い人が出てくるのだと思います。私は79年にロータリーに入れて頂いたその時、これがバックボーンだったような気がします。

当時私は、委員活動も行われず、昼飯を食べるだけのロータリーを辞めようと思ったことも何度かありました。豊田と岡崎を流れる矢作川という川があります。蜂須賀五郎が秀吉を叩き起こしたと言う逸話がある橋が架かっている川です。僕らの町はこの上流で、矢作川の清掃を JC やライオンズ、RC が行います。豊田に4つロータリークラブがあり、うちのクラブは参加しないので、私は聞いたことがあります。その時、「ロータリーはそんなことはしない、ゴミを捨てない人を育てる」と言われ納得した記憶があります。当時は人づくりにウエイトがありました。むしろ個人的でプライベートな活動であった、またここへ戻ってきていると、今回の規定審議会では

そんな感想を持っています。

主な採択です。村井さんがお話になって、山崎さんも戦略計画で詳しくお話になりました。

2016年規定審議会にて採択された主たる制定案

- ・制定案 16-21号 (例会運営と出席に柔軟性を与える)
- ・制定案 16-36号 (会員資格に柔軟性を認める)
- ・制定案 16-7号 (「入会金」という語句がRI細則、クラブ定款から削除。しかしクラブの裁量で入会費に関する規定をクラブ細則に加えれば徴収できる)

21号と36号が、規定審議会では話される前に臨時のRI 理事会が開かれ、(理事エレクトの) 私たちに傍聴するようにとの連絡がありました。理事会では会費の値上げと共に、どう扱い通過させるかとの事でした。この21号と36号に対し、前の理事会の17人が、この案件が通るようならロータリーではないと、当時のジョン・ジャーム会長エレクトやラビンドラン会長が言っていました。日本でもこれが通るなら価値観が打ち砕かれる。と言っていたので、この発言はうれしかったです。

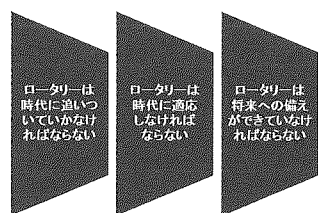
会費を上げる過程で、よく日本には発言権がないと言いますが、事前に日本はどうかと連絡があり、日本の意見の動向を気にしている事を感じました。

今回の規定審議会は思ったよりも私は良い規定審議会だったと感じ、本部の姿勢がわかったと思います。なぜ、柔軟性ができたのか、①世界のロータリーの変化は理事会・事務局の予想をはるかに超えて動いている。・・・世界の変化を日本も意外と感じていないので対応が遅れている。イスラム教、キリスト教、仏教、ヒンズー教等一定のルールに収まらない。②世界のロータリーの画一的運営はほころびている。・・・タイの理事が怒っておりました。インドネシアへRI 会長代理で行ったら、インドネシアのクラブでは大切に扱ってくれない。言葉が違う、宗教が違うからと彼は怒っていましたが、それは無理だと思います。同じやり方では無理なのです。③地域・地区のクラブの運営裁量権が少しずつ拡大されてきた(組織維持のため)・・・日本のバストガバナーはびっくりすると思いますが、中南米では2-3か月も例会をしていないところも沢山あるそうです。柔軟性が認められ、グアテマラの理事が大喜びしていました。例会のあり方、出席率は崩れていたもので、それが通ったので地区に帰れると。

では、地区やクラブはどうしたらよいのでしょうか、山崎さんが懇切丁寧に話をしました。①今まで通り

2015年10月の決定

理事会は以下のことに同意



にやる。②クラブ戦略計画の徹底。クラブビジョンを作っていく。これをやらないとクラブは死んでいきます。長嶺ガバナー方針にもあります。RI会長賞にチャレンジして下さい。それをすることで姿がはっきりしてきます。③COLの活用（柔軟なクラブ運営）・・・COL2016を悪用しようよ、自分のクラブを柔軟にしないと生き返りません。

まとめとして、「ロータリーの運営に柔軟性が認められました。クラブを強くする絶好のチャンスです。元気な会員の集まるクラブを目指しましょう」人道的支援と言っても自分の事業活動の中で時間を作って参加する、日常的なことは自分の周りです。戦略計画の中で大事な質問で「あなたはなぜロータリーを続けている？あなたのロータリークラブはあなたの街でどんな評価をされていますか？」とのとても厳しい質問があります。ですから、戦略計画を持ち込み、我が身を正さなければならないと進めないとと思います。

たしか岩手と青森の県境で青少年交換を一生懸命やっている小さな町が、こぞって生徒を迎え入れています。そのクラブのホームページには、「ロータリーとはなんですか？」とあり、「自分の暮らしや街をよくする人たちの活動です」とあります。

以前、ロータリーとはこうですとロータリーの思想を広めていこうとトップを走っていたロータリー哲学の先進地区は青森でした。そんな歴史があることを肝に銘じてください。明日もあります。酒を飲みながらでも自分の町をこぞってどうしようか話し合いましょう。ご清聴ありがとうございました。

